

公益社団法人 日本水産学会
令和2年度第7回理事会議事録

1 開催された日時 令和3年2月6日(土)13時00分～16時53分

2 開催された場所 日本水産学会事務局(東京都港区港南4-5-7)

3 理事総数及び定足数 総数17名, 定足数9名

4 出席理事総数 17名

(Web会議システムによる出席)

金子豊二, 吉崎悟朗, 潮 秀樹, 八木信行, 廣野育生, 山下 洋, 中田 薫,
横山芳博(第3号議案審議中13時15分に着席), 佐野元彦, 木村暢夫, 越
塩俊介, 落合芳博, 小島隆人, 平塚聖一, 澤山茂樹, 野田幹雄, 大嶋雄治

5 出席監事

(Web会議システムによる出席)

杉田治男, 舞田正志, 野澤知世

6 出席幹事

(Web会議システムによる出席)

坂本 崇, 二羽恭介, 小山寛喜, 澤山英太郎, 甘糟和男, 長阪玲子

7 議 案

決議事項

- 第1号議案 「令和3年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項」の件
- 第2号議案 「会費免除承認」の件
- 第3号議案 「令和3年度事業計画」の件
- 第4号議案 「寄附金の使途」の件
- 第5号議案 「令和3年度資金調達及び設備投資の見込み」の件
- 第6号議案 「令和3年度予算」の件
- 第7号議案 「令和2年度日本水産学会論文賞の決定」の件
- 第8号議案 「近畿支部運営規程の一部改正」の件
- 第9号議案 「水産学若手の会委員会運営規程の一部改正」の件
- 第10号議案 「日本学術振興会賞推薦候補者の選考・推薦について及び学会賞選考委員会
内規の一部改正」の件
- 第11号議案 「令和3年度春季大会の日程短縮」の件
- 第12号議案 「令和3年度春季大会における発表を行わない学部学生の参加費無料化の試
み」の件
- 第13号議案 「令和3年度秋季大会」の件
- 第14号議案 「令和3年度各種委員会委員長選出」の件
- 第15号議案 「令和3年度各種委員会委員選出」の件
- 第16号議案 「令和2年度資格喪失者」の件
- 第17号議案 「共催, 協賛, 後援の取り扱いの申し合わせ」の件
- 第18号議案 「鹿児島大学国際島嶼教育センターの全国共同利用・共同研究施設拠点申請
への要望書」の件
- 第19号議案 「東京大学大気海洋研究所の共同利用・共同研究拠点の継続申請に係る要

望書」の件

第 20 号議案 「入会承認」の件

報告事項 ① 第 6 回理事会以降の職務遂行の状況

② その他確認事項

8 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

金子会長が定足数の充足及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムにより、出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、金子会長が議長となり、本会議の成立及び Web 会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案「令和 3 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項」の件

吉崎総務担当理事から、原案について以下のとおり説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

開催日時：令和 3 年 5 月 10 日 17 時 00 分～18 時 30 分

開催場所：東京海洋大学品川キャンパス

目的である事項：令和 2 年度事業報告並びに貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録承認の件

なお、本議案について、以下の質疑応答があった。

金子会長「オンライン開催であるが、理事は会場に来るのか？」

吉崎理事「理事はオンライン参加になるが、会長、総務担当理事、幹事、事務局は会場に来る。質疑のある方も来場していただきたい。」

第 2 号議案「会費免除承認」の件

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 3 号議案「令和 3 年度事業計画」の件（別紙 1）

吉崎総務理事から、令和 3 年度事業計画について原案の説明があった。なお、本議案について、以下の質疑応答があった。

木村理事「令和 3 年度秋季大会は対面開催で検討しているので、オンライン開催は削除して、北海道大学函館キャンパスのみに変更したい。」

金子会長「了解した。詳細は第 13 号議案で検討する。」

坂本幹事「イギリス諸島水産学会の後に”大会”を加筆した方がよい。」

金子会長「加筆する。」

審議の結果、原案を一部修正のうえ出席理事全員一致で可決した。

第 4 号議案「寄附金の使途」の件

八木財務担当理事から、寄附金の使途について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 5 号議案「令和 3 年度資金調達及び設備投資の見込み」の件（別紙 2）

八木財務担当理事から、令和3年度資金調達及び設備投資の見込みについて原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第6号議案「令和3年度予算」の件（別紙3）

八木財務担当理事から、令和3年度予算について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。なお、本議案について、以下の質疑応答があった。

金子会長「リモート開催により来年以降も旅費が少なくなるだろう。」

舞田監事「会議のリモート開催により今年度は交通費が大幅減になったが、今後も原則として理事会等のリモート開催を継続していくのか？」

金子会長「来年度もリモート開催になるだろうが、しばらく様子を見ては？」

吉崎理事「会場と遠隔のハイブリッド会議より、各個人がPCを使ったリモート会議の方がスムーズに開催できる。」

金子会長「同感である。現時点では開催方法は決めず、来年度はこの方法で進めていく。」

大嶋理事「場合によっては対面会議も開催できるようにしてはどうか。」

八木理事「対応できるよう予算を確保している。」

第7号議案「令和2年度日本水産学会論文賞の決定」の件（別紙4）

潮編集担当理事から、令和2年度日本水産学会論文賞について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。また、授賞理由について一部修正することを出席理事全員一致で可決した。

第8号議案「近畿支部運営規程の一部改正」の件（別紙5）

澤山近畿支部担当理事から、支部例会の優秀発表賞について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。なお、本議案について、以下の質疑応答があった。

金子会長「対象者に高専の学生は含まれるのか？」

澤山理事「これまで発表がないが含まれる。」

中田理事「発表者すべてが該当するなら、カッコ書きは必要ないのでは？」

澤山理事「発表してもらいたい対象者が分かるよう残しておきたい。」

金子会長「高校生も含んでいることが分かるよう原案でよいのではないか。」

吉崎理事「以前、ポスドクや博士課程の学生に集中しないよう区分して設定したはずだが、なぜ失くすことにしたのか？」

澤山理事「以前ほど発表者が多くないので、発表数に合わせて対応できるよう変更した。」

第9号議案「水産学若手の会委員会運営規程の一部改正」の件（別紙6）

潮水産学若手の会担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第10号議案「日本学術振興会賞推薦候補者の選考・推薦について及び学会賞選考委員会内規の一部改正」の件（別紙7）

山下学会賞担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。なお、本議案について、以下の質疑応答があった。

潮理事「出産等で年齢の特例があるので45歳に限定しない方がよいのでは？」

金子会長「そうであるなら合わせた方がよいのでは？」

潮理事「確認したところ特例は大学等研究機関から推薦の場合に限るので原案でよい。」

第 11 号議案「令和 3 年度春季大会の日程短縮」の件

小島関東支部担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 12 号議案「令和 3 年度春季大会における発表を行わない学部学生の参加費無料化の試みの件」

潮水産学若手の会担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

金子会長「無料参加を 50 名に限定している理由は？」

潮 理事「昨年度は 30 名で段階的に 50 名に増やしている。」

金子会長「来年は対面開催を予定しているため、妥当な人数と考える。」

第 13 号議案「令和 3 年度秋季大会」の件

木村北海道支部担当理事から、令和 3 年度秋季大会の開催日程、場所、委員長について原案の説明があった。また開催方法について、対面（ポスターはオンライン）でのみ実施し、対面が難しい場合は中止するとの提案がなされた。本議案について、以下の質疑があった。

金子会長「大会を中止した場合、参加費をどうしていくか？」

木村理事「北大としては是非開催したいが、感染状況により中止せざるを得ない場合がある。」

中田理事「見なし開催は検討されたか？」

木村理事「検討しているが、自前で開催する予定なので参加費の返金は難しい。」

吉崎理事「COVID19 がこのまま終息しない場合、参加を控える人も多いのではと思う。」

木村理事「対面とオンラインのハイブリッド開催も検討したが、経費的に難しい。可能な限り対面による開催とし、やむを得ない場合は、見なし開催に変更する場合もありうる。」

金子会長「やむを得ず中止する場合には、見なし開催でもよいのでは？」

木村理事「出来る限り対面の準備は進め、要旨集は作成する。」

金子会長「参加費の書き方は注意する必要がある。」

木村理事「考慮して実施案を作成していく。」

横山理事「地方ではハイブリッド開催は難しいことはよく理解できる。」

大嶋理事「要旨集を配布する場合には、見なし開催にすべきである。」

小島理事「対面で開催する場合、会場の入場制限はどのようにするのか？」

木村理事「収容人数の半数を予定しているが、今後詳細を検討する。」

吉崎理事「体面による開催が出来なかった場合、web 開催にしなかった理由も検討しておく必要がある。」

潮 理事「地方大会で web 開催すべきなのか理事会として検討しておく必要がある。」

八木理事「本年度の予算は黒字なので、予算とは別の観点で、例えば理念として地方大会を web 開催する意義があるのか理事会などで検討していく必要がある。」

金子会長「大変な状況ではあるが、引き続き開催に向けて検討をお願いしたい。」

以上の審議の結果、令和 3 年度秋季大会の開催日程、場所、大会委員長について出席者全員一致で原案のとおり可決し、開催方法については継続審議とすることとなった。

第 14 号議案「令和 3 年度各種委員会委員長選出」の件

吉崎総務担当理事から、令和3年度各種委員会委員長のうち理事会で選出する委員長について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下のとおり可決した。

編集委員会	落合芳博
企画広報委員会	高井則之
国際交流委員会	廣野育生
水産教育推進委員会	藤森康澄
水産政策委員会	牧野光琢

令和2年度に引き続き令和3年度も委員長を務める者

シンポジウム企画委員会 平松一彦

第15号議案「令和3年度各種委員会委員選出」の件

吉崎総務担当理事から、令和3年度各種委員会委員選出について原案の説明があった。本議案について、以下の質疑応答があった。

廣野理事「国際交流委員会では阿部委員、荒川委員、黒倉委員の3名は交代、舞田委員は辞退され、新たに宮田委員、藤森委員、坂井委員、東委員が就任している。」

審議の結果、原案を一部修正のうえ出席理事全員一致で可決した。

第16号議案「令和2年度資格喪失者」の件

吉崎総務担当理事から、令和2年度資格喪失者の案として対象者となる会員氏名リストが示され、2月末までに滞納会費が支払われることでリストから名前が除かれるという説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第17号議案「共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ」の件

吉崎総務担当理事から、共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせについて説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第18号議案「鹿児島大学国際島嶼教育センターの全国共同利用・共同研究施設拠点申請への要望書」の件

金子会長から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第19号議案「東京大学大気海洋研究所の共同利用・共同研究拠点の継続申請に係る要望書」の件

金子会長から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第20号議案「入会承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

(報告事項)

①第6回理事会以降の職務執行の状況

・会長

金子会長から、次の報告があった。

- 1) 水産・海洋科学研究連絡協議会が12月2日にオンライン開催された。
- 2) 12月5日に開催された「海とさかな」自由研究・作品コンクールの表彰式に参加した。
- 3) 日本学術会議からアンケートの依頼があり、八木理事、中田理事、潮理事に原案を作成してもらい回答した。

・庶務関係

吉崎担当理事から、次の報告があった。

- 1) 日本農学会シンポジウムの講演者推薦について、八木理事に講演を依頼した。
- 2) 下記の協賛について、共催、協賛、後援の取り扱い申し合わせ3)を適用した。

①第21回マリンバイオテクノロジー学会大会

主 催 マリンバイオテクノロジー学会

協 賛 電気化学会 他24学協会

日 時 令和3年5月15日・16日

場 所 開催方法検討中

希 望 協賛

負担金 なし

・企画広報関係

廣野担当理事から1月6日に第6回委員会がオンライン開催されたとの報告があった。

・財務関係

八木担当理事から、令和3年度予算について検討したことと、12月20日に正会員の岡崎恵美子会員より寄付金50,000円を受け取ったとの報告があった。

・編集関係

潮担当理事から、論文賞について検討したとの報告があった。

・学会賞関係

山下担当理事から、日本学術振興会賞について検討したとの報告があった。

・シンポジウム関係

落合担当理事から、令和3年度春季大会で3件のシンポが予定されており、そのうち2件は新規、1件は前回延期された内容であるとの報告があった。

・出版関係

大嶋担当理事から、水産学シリーズの韓国語と中国語の翻訳が進んでおり、e-水産学シリーズの2巻目は校正段階まで進んでいるとの報告があった。また、井上委員は任期6年を超えるが、もう一期委員を継続するとの報告があった。

・水産技術誌監修関係

中田担当理事から、2月4日に委員会が開催されたとの報告があった。

・国際交流関係

越塩担当理事及び国際交流員会次期委員長である廣野理事から、令和3年度春季大会で英語による発表セッションが設けられ、海外から3件の発表があるとの報告があった。

・水産教育関係

山下担当理事から、1月にメール会議を開催したとの報告があった。

・水産政策関係

八木担当理事から、令和3年度春季大会で理事会特別シンポを共催するが、その発表者の選定等をメールで審議したとの報告があった。

・漁業・資源管理関係

小島担当理事から、3月26日に委員会を開催する予定との報告があった。

・水産利用関係

横山担当理事から、1月に活動及び次期委員の確認を行ったとの報告があった。

- ・水産増殖関係

佐野担当理事から、令和3年度春季大会で前回延期された講演会を開催するとの報告があった。

- ・水圏環境関係

澤山担当理事から、次期委員の確認を行ったとの報告があった。

- ・男女共同参画関係

中田担当理事から、次期委員の確認を行ったとの報告があった。

- ・水産学若手の会関係

潮担当理事から、令和3年度春季大会における学部学生50名の無料化、シンポジウムの内容等について検討したとの報告があった。

- ・社会連携関係

横山担当理事 特になし。

- ・将来計画関係

越塩担当理事 特になし。

- ・北海道支部，地域連携関係

木村担当理事から、審議事項で提案したとおり令和3年度秋季大会の開催方法等を検討したとの報告があった。

- ・東北支部，地域連携関係

落合担当理事から、2月10日に支部例会を開催するとの報告があった。

- ・関東支部，地域連携関係

小島担当理事から、12月に支部幹事会をメール会議で開催し、支部幹事選挙の投票をネット環境で実施することを検討しているとの報告があった。また、東海大会委員長から、令和3年度春季大会の事業計画書を受け取ったとの報告があった。

- ・中部支部，地域連携関係

平塚担当理事 特になし。

- ・近畿支部，地域連携関係

澤山担当理事 特になし。

- ・中国・四国支部，地域連携関係

野田担当理事から、次の報告があった。

1) 12月25日から支部幹事会をメールで審議した。

2) 1月23～24日に支部例会を開催し、58名の参加があり、発表28題のうち動画による口頭発表10題、ポスター発表17題、高校生のポスター発表1題があり、35歳以下の口頭発表者に優秀賞、高校生に努力賞を贈呈した。

3) 2月5日に支部総会をメールで報告した。

- ・九州支部，地域連携関係

大嶋担当理事から、1月9日に幹事会、総会、研究発表会をzoomで開催し、研究発表会は2会場に分かれて、発表数は20数件、参加者は80名程度であったとの報告があった。

- ・英文書籍監修委員会（特別委員会）

吉崎担当理事から、2月10日にメール会議を行い、新たな執筆者を受賞者から選定中

であるとの報告があった。

- ・東日本大震災災害復興支援検討委員会（特別委員会）

落合担当理事から、令和3年度春季大会の理事会特別シンポジウムの内容が概ね決定したとの報告があった。

- ・財務検討委員会（特別委員会）

八木担当理事から、本年度決算で黒字が1000万円程度になるが課税対象にはならないこと、また正味財産も増加し7000万円程度になるものの過大な内部留保とみなされる水準ではないこと、これらの解釈は事務局の過去の経験等から適切と思われること、ただし今後は日本水産学会100周年イベント開催に向けて財務状況をどうすべきか別途検討していく必要がある、との報告があった。

②その他確認事項

(1) 学会賞受賞者講演の座長について

吉崎総務担当理事から学会賞受賞者講演の座長について説明があり、各所に理事が配置された。なお、本件について次の質疑応答があった。

金子会長「5月28日の講演時間は違うのでは？」

吉崎理事「修正しておく。」

潮 理事「論文賞をどのように扱うか？」

金子会長「表彰式は行わず、webで紹介する。」

(2) 次回以降の理事会について

吉崎総務担当理事から、次回の理事会を令和3年3月30日13時から、次々回の理事会を令和3年4月28日13時から開催するとの説明があった。

以上をもってWeb会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、16時53分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和3年2月6日

公益社団法人 日本水産学会

議長 会長（代表理事）

監 事

監 事

監 事